

◆ 同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授

小山 隆 (こやま たかし)

○ 経歴

高校時代にボランティア活動に参加して福祉に関心をもつようになる。

京都府立大学文学部社会福祉学科卒業

同志社大学院文学研究科社会福祉学専攻修士課程修了

短大、大学等の教員を経て

現在同志社大学社会学部社会福祉学科教授

専門はソーシャルワーク論（福祉援助論）

○ 講演題目：地域での支え合いの関係について考えるー福祉の視点からー

○ 講演概要：ボランティア元年とも言われた阪神淡路大震災から一六年、今年には東北地方を中心とした大震災が起きました。

国や自治体が被災地に対して何が出来るかということも大切ですが、そのこととは別に、地域に住む人々がまた遠くにいる我々が、何が出来るかが問われています。さらに広げれば震災に限らず、市民が互いに助けあうことの重要性が改めて注目されているといえるでしょう。

しかし、相手のための行動のつもりであっても、軽率なボランティア活動は相手にかえって迷惑をかけることにもなりかねません。

本講義では、ボランティア活動等における支援のあり方について述べ、支援する側が大切にしなければならないこと等について考えていきたいと思います。